

【作品名】 なかよしすごろく	【学校名】 日立市立塙山小学校																																																															
【活用できる領域・教科等】 自立活動	【制作者名】 棚井 京子																																																															
【制作の意図】 ・コミュニケーションが苦手な児童でも、指示を読んでそれを実行することで、友達とのコミュニケーションを図ることができる。また、低学年は数の学習にもなる。	【使用方法】 ・2～6人で行う。スタートにそれぞれのこまを置く。順番を決めて、一人ずつさいころを振る。さいころの出た目の数の分こまを進める。止まったところに書いてある指示を読んでその指示に従う。ゴールまでたどり着いたら終了。																																																															
【制作上の工夫】 ・それぞれのこまは、紙コップに自分の顔と名前を書いて自分で作る。番号ごとの指示は、事前に子供たちが考えたものもある。 ・その指示は、友達とのコミュニケーションがとれるものだったり、自分がお話をするものだったりするので、話す学習にもなる。 ・簡単にできるゲームなので、どこにでも広げて活用できる。	【見取り図】 模造紙1枚の大きさ 横109cm <table><tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>⑦</td><td>⑧</td><td>⑨</td></tr><tr><td></td><td>⑩</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></table> たて79cm	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		⑩								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨																																																								
	⑩																																																															
○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																								
○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																								
○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																								
○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																								
○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																								
【写真】	【使用効果と応用発展】 ・小集団の中で活用できる。 ・数字のところの指示の言葉は、子供に応じて変更できるよう、すぐにはがせるようにしてある。 ・指示の言葉を子供たちに考えてもらうことによって、自分達で作ったすごろくを楽しもうとしたり、満足感が得られたりする。 ・事前に「にこにこ言葉」や「ちくちく言葉」を確認することで、仲良く遊べるようにする。																																																															
【材料・材質・部品等】 ・すごろくの模造紙 ・こま ・さいころ																																																																